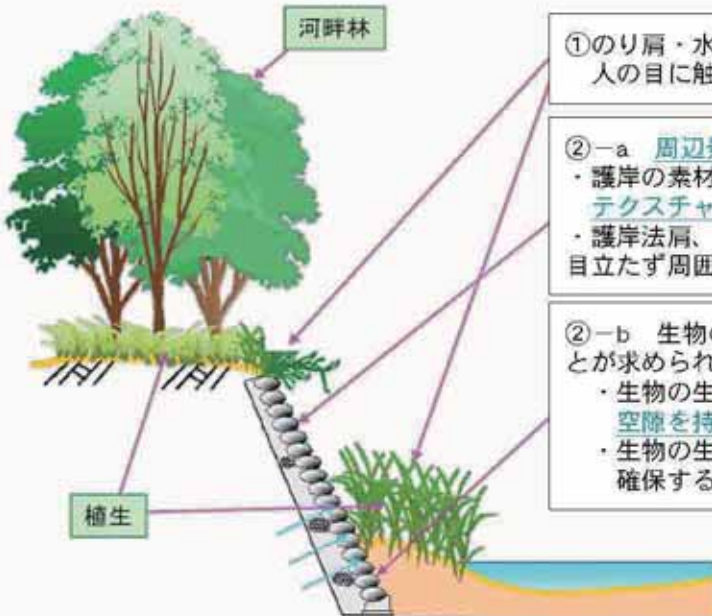


# コンクリートブロックにおける多自然川づくりへの取り組み

## 1. 護岸の環境上の機能の確保

(国土交通省 中小河川に関する河道計画の技術基準H22.08通知より)

護岸は、河岸・水際部の計画・設計を行う際の手段の一つであり、治水上の観点から河岸防護が必要な場合に限り適切に活用していくというスタンスが基本となる。



①のり肩・水際部に植生を持つことを原則とし、直接人の目に触れる部分を極力小さくすることが望ましい。

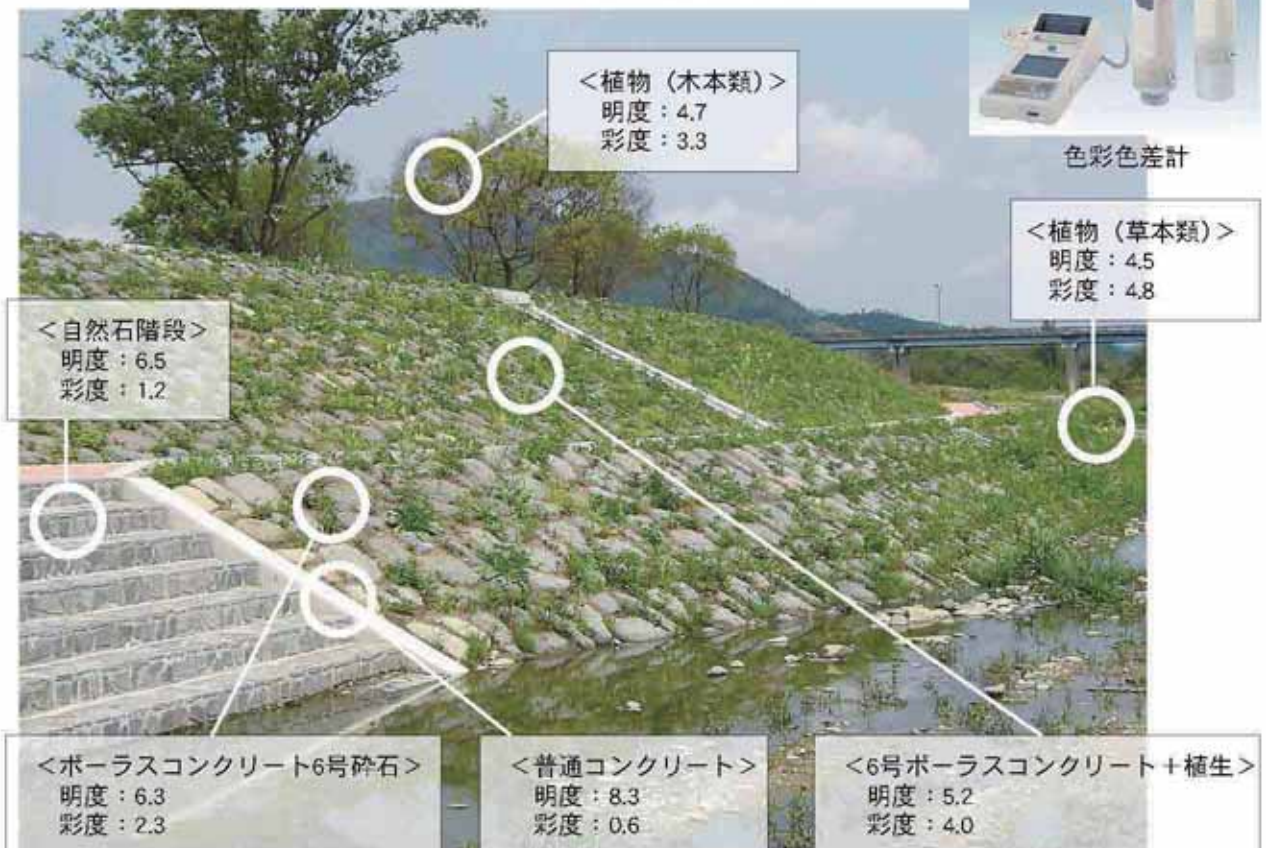
②-a 周辺景観と調和するため  
・護岸の素材が周辺と調和した**明度**、**彩度**、**テクスチャー**を有していること。  
・護岸法肩、護岸の水際線等の境界の処理は、目立たず周囲と調和していること。

②-b 生物の生息・生育空間・移動経路の機能を持つことが求められる  
・生物の生息・生育場所や植生基盤となりうる**空隙を持つこと**（**景観にも留意**）  
・生物の生息・生育に適した**湿潤状態**ののり面を確保するため、**透水性・保水性**を持つこと。

## 2. 周辺環境との調和

### (1) コンクリート施工現場における明度・彩度

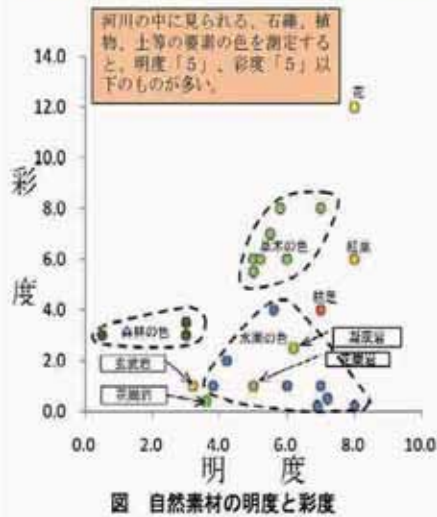
● 現場写真を印刷し、各ポイントで明度・彩度を測定し比較。



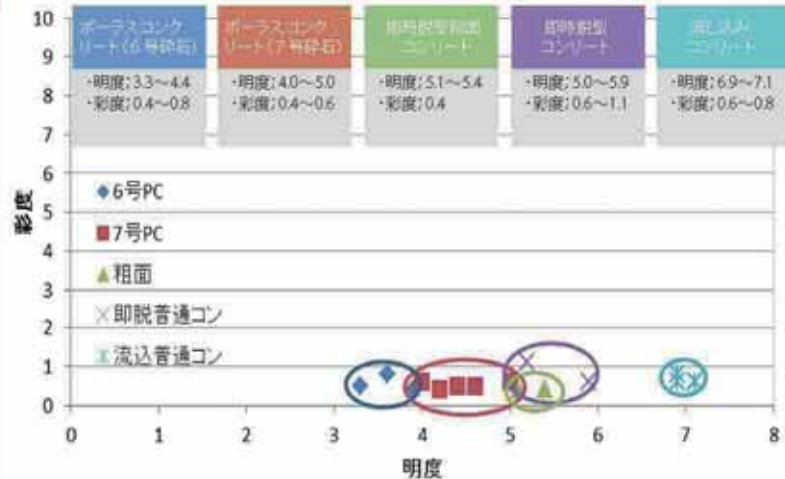
## (2) 明度・彩度

- 明度：明るさを表し、黒が明度「0」、白が明度「10」となる。
- 彩度：鮮やかさを表し、黒・白・灰など色みを持たないものが彩度「0」となる。

### 自然素材は、低明度、低彩度である



### 当社コンクリー製品の明度と彩度



## (3) テクスチャー

- テクスチャー（肌理（きめ））とは、対象物の表面の状態を表す概念であり、素材の感触や質感を意味している。
- 人工の素材であっても、自然物に近い（肌理の粗い）テクスチャーにすれば、自然の中にある対象物の質感に近づけ、人工感を緩和することができる。



## 3. 各種コンクリートの特性（空隙率・保水性・透水性・圧縮強度 など）

	ポーラスコンクリート (6号砕石)	ポーラスコンクリート (7号砕石)	即時脱型粗面コンクリート	即時脱型コンクリート	流し込みコンクリート
明度・彩度	◎	○	○	△	×
テクスチャー	◎	○	○	△	×
空隙	◎	○	×	×	×
透水性	◎	○	×	×	×
保水性	△	○	◎	△	×
圧縮強度	18N/mm以上	21N/mm以上	24N/mm以上	24N/mm以上	24N/mm以上